(５)　都市魅力創造局企画・観光課

目　　次

企画グループ

観光振興グループ

観光環境整備グループ

事務執行概要

企画グループ

**１　府市による大阪府市都市魅力戦略推進会議の運営**

府市共同設置の附属機関「大阪府市都市魅力戦略推進会議」において、平成28年11月に策定した「大阪都市魅力創造戦略2020」に基づく関連施策の進捗管理や評価管理を行った。

　　　（開催回数）

　　　　　都市魅力戦略推進会議１回

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 予算額 | 1,543千円 | 1,555千円 | 1,559千円 |
| 決算額 | 310千円 | 232千円 | 165千円 |

観光振興グループ

**１　観光振興事業**

1. 大阪観光局事業の推進

「大阪都市魅力創造戦略2020」に掲げる“2020年 外国人旅行者 1,300万人”を達成するため、（公財）大阪観光局において、国内外へのプロモーションを展開するとともに、府域の観光素材の磨き上げ等を通じた大阪のブランド化、インターネットを活用した多言語による観光情報の発信など、戦略的な観光集客事業を展開した。

また、大阪観光局が日本版ＤＭＯ法人に登録されたことから、観光データの継続的な収集、マーケティングの強化など、「大阪版ＤＭＯ」としての機能強化を推進した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分　担　金 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ３２０，０００千円 | ３２０,０００千円 | ３００，０００千円 |
| 決　算　額 | ３２０，０００千円 | ３２０,０００千円 | ３００，０００千円 |

（大阪観光局事業評価指標）平成30年・令和元年目標と実績値

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成30年  目標 | 平成30年  (確定) | 令和元年  目標 | 令和元年  （暫定） |
| 来阪外国人旅行者数 | 1,180万人 | 1,142万人 | 1,225万人 | 1,231万人 |
| 来阪外国人延べ宿泊者数 | 1,100万人 | 1,389万人 | 1,689万人 | 1,702万人 |
| 来阪日本人延べ宿泊者数 | 2,209万人 | 2,187万人 | 2,281万人 | 2,748万人 |
| 国際会議開催件数 | 303件 | 242件 | 291件 | 315件 |
| MICE外国人参加者数 | 37,000人 | 18,971人 | －人 | －人 |

1. 【新規】ツーリズムＥＸＰＯジャパン２０１９を通じた大阪のＰＲ

大阪で初めて開催された、観光をテーマとする総合的なイベント「ツーリズムＥＸＰＯジャパン2019」のウェルカムレセプションにおいて、大阪らしい演出を行うことで海外の出展者やメディアに対し大阪の魅力をＰＲするとともに、海外バイヤー向けの商談会に出展して観光資源をＰＲする市町村等に対し、通訳費などを支援した。（実績 ３件）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ― | ― | ２，２５０千円 |
| 決　算　額 | ― | ― | ４２５千円 |

**２　関西国際空港における観光情報の提供等**

民間事業者が関西国際空港旅客ターミナルビル１Ｆ（国際線到着ロビー）に設置している関西ツーリストインフォメーションセンター関西国際空港において、関西国際空港内広域観光案内推進協議会の構成員として分担金を支出することにより、観光情報の提供、収集等を実施した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 負　担　金 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ８００千円 | ８００千円 | ８００千円 |
| 決　算　額 | ８００千円 | ８００千円 | ８００千円 |

構成団体　大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、福井県、徳島県、鳥取県、

大阪市、京都市、神戸市、奈良市、和歌山市、堺市

　　　　（オブザーバー参加）三重県

**３　観光関連団体との連携**

在阪府県協議会（昭和３８年設立）

在阪府県協議会に加入し、大阪における観光・物産斡旋業務等について、全国府県の在阪出先機関と連携を密にし、情報交換等を行うとともに共同事業を実施した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分　担　金 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | １３０千円 | １３０千円 | １３０千円 |
| 決　算　額 | １３０千円 | １３０千円 | １３０千円 |

**４　旅行業の登録等**

第２種・第３種・地域限定旅行業者、旅行業者代理業者及び旅行サービス手配業者の登録等の事務を実施した。

旅行業者登録〔（　）内は旅行業者代理業で内数〕

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | |
| 区　　　分 | 旅行業者等 | 旅行ｻｰﾋﾞｽ手配業 | 旅行業者等 | 旅行ｻｰﾋﾞｽ手配業 | 旅行業者等 | 旅行ｻｰﾋﾞｽ手配業 |
| 新規登録 | 51  (5) | 68 | 55  (5) | 68 | 64 (2) | 63 |
| 更新登録 | 103 |  | 153 |  | 139 |  |
| 変更登録 | 6 |  | 4 |  | 5 |  |
| 変更届 | 165  (17) | 0 | 158  (6) | 18 | 146 (5) | 25 |
| 登録抹消 | 48 (3) | 1 | 63 (11) | 4 | 84 (8) | 6 |
| 供託金取戻証明 | 23 |  | 26 |  | 27 |  |
| 年度末現在数 | 866（67） | 67 | 851（59） | 130 | 837（56） | 189 |

〔根拠法令：旅行業法〕

**５　全国通訳案内士の登録申請の受付**

観光庁において行われる全国通訳案内士試験の合格者が対象となる全国通訳案内士の登録申請等の受付事務を実施した。

※平成24年度より全国通訳案内士の登録は関西広域連合へ移管した。各構成府県は申請等の受付事務のみを実施し、関西広域連合より受託料収入を得ている。

全国通訳案内士登録申請等受付件数（大阪府における受付件数）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 新規登録申請 | １０１ | ５８ | ３９ |
| 変更届出 | ３２ | ３１ | １９ |
| 再交付申請 | ７ | ３ | １０ |

〔根拠法令：通訳案内士法、関西広域連合規約〕

**６　大阪府立国際会議場（グランキューブ大阪）の運営**

（１）施設の設置目的

　　府民に開かれた国際交流の拠点として、学術、芸術及び産業の振興に資する集会及び催物の場を提供し、もって大阪の文化及び経済の発展に寄与する。

（２）施設概要

1. 所在地　　大阪市北区中之島５丁目３番５１号
2. 施設規模　　地下３階地上１３階建　Ｓ造（一部ＳＲＣ造）
3. 主な施設内容　　メインホール、イベントホール、特別会議場、会議室（２５室）、

プラザ、その他

（３）利用実績（平成１２年４月開業）

① 会議等開催件数（件）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 国際会議 | ５７（※） | ６６（※） | ５７（※） |
| 国内会議 | １，３９７ | １，２４９ | １，０５７ |
| 展示会 | ５３ | ５７ | ４９ |
| 興行 | ６５ | ６２ | ６２ |
| 合計 | １，５７２ | １，４３４ | １，２１５ |

※日本政府観光局国際会議統計基準によりカウント

　１．主催者が国際機関・国際団体又は国家機関・国内団体（民間企業除く）

　２．参加者総数が50名以上

　３．参加国が日本を含む3カ国以上

② 利用人数（千人）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 来場者数 | １，０６２ | １，０８６ | ９８０ |
| うち海外からの来場者 | １０ | １１ | ８ |

1. 施設利用率（％）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| メインホール | ７８ | ８３ | ７２ |
| イベントホール | ８７ | ９３ | ８４ |
| １０階会議室 | ８３ | ８４ | ７２ |
| 全館平均 | ７２ | ７３ | ６３ |

（４）大阪府立国際会議場の運営

大阪府立国際会議場条例（平成１１年大阪府条例第３号）第７条の規定により、同会議場の

指定管理者として、(株)大阪国際会議場が管理・運営を行った。

（指定期間：平成３１年４月１日～令和１１年３月３１日）

**７　大阪府立国際会議場基金等の管理運営**

（１）大阪府立国際会議場基金**【創設年月日　昭和39年4月1日（大阪府基金条例）】**

　　　　大阪府基金条例（昭和３９年大阪府条例第４号）に基づき大阪府立国際会議場の整備及び

健全な運営に資するため設置した大阪府立国際会議場基金の管理運営に努めた。

　　 　（平成23年4月１日「大阪府立国際会議場基金」に名称変更）

　　　○基金の造成・運用状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　　分 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 積立額 | 488,063千円 | 480,793千円 | 440,211千円 |
| うち基金運用収入額 | 316千円 | 664千円 | 928千円 |
| 取崩し額 | 205,548千円 | 278,775千円 | 608,409千円 |
| 基金総額 | 2,808,171千円 | 3,010,853千円 | 2,842,655千円 |

（２）株式会社大阪国際会議場

①株主権行使の実績

　　　　　本府は、同社の半数の株式を保有しており、株主総会における議決権、利益配当請求権等株主としての諸権利を行使した。

　　　　株主総会には、次のとおり株主権を行使した。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　　月　　日 | 名　　　称 | 株主権行使者 |
| 令和元年6月24日 | 第７０回定時株主総会 | 府民文化部国際交流監 |

②本府に対する配当

　　　　　第７０期（平成３０年４月１日～平成３１年３月３１日）決算においては、

１株あたり２０円の配当があった。

配当金額　　　６００,０００株　×　２０円　＝　１２，０００千円

観光環境整備グループ

**１　宿泊税を活用した観光客の受入環境整備**

観光地における利便性・快適性を高めるため、宿泊税を活用し、様々な受入環境整備に関する事業を実施した。

（１）大阪駅・新大阪駅におけるトラベルサービスセンターの運営

観光客が必要とするサービスをワンストップで提供する場として、これまでJR大阪駅にのみ設置されていた「トラベルサービスセンター」を、令和元年８月、新たにJR新大阪駅で開所し、計２か所で上記施設の運営を行った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 負担金 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ３２，６３３千円 | ３５，２０２千円 | ４９，７２７千円 |
| 決　算　額 | ３１，９９１千円 | ３４，０７２千円 | ４７，２４６千円 |

（２）宿泊施設の環境整備の促進

宿泊客の利便性や満足度の向上や特区民泊の認定促進のため、宿泊施設が実施する施設内の案内表示等の多言語化、トイレの洋式化等の受入環境整備や特区民泊の認定取得に係る消防設備の整備等に対し、それぞれ補助金を交付した。（実績 宿泊施設：１６件、特区民泊施設：４２件）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ５０，０００千円 | ４０，０００千円 | ５０，０００千円 |
| 決　算　額 | ３２，７５３千円 | ３２，８０６千円 | ３２，７４５千円 |

（３）Osaka Free Wi-Fiの設置促進

観光エリアにおいて、通信環境を整備して多数の旅行者を呼び込むため、市町村等が実施するOsaka Free Wi-Fiの整備に対し、補助金を交付した。（実績 ６市１６エリア）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ４２，０２４千円 | ４６，０００千円 | ５０，０００千円 |
| 決　算　額 | ２９，６４９千円 | ４４，１６９千円 | ３５，８９７千円 |

（４）市町村等の観光振興の支援

府域全体への観光集客の促進と地域の活性化に寄与するため、市町村等が実施する多言語の観光案内板や観光公衆トイレの整備等の観光振興事業に対し、補助金を交付した。（実績 ８市１２事業）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ５１，２３９千円 | ３１，１５１千円 | ６５，０００千円 |
| 決　算　額 | ４５，０１７千円 | ２８，２６６千円 | ４２，１３０千円 |

（５）外国人旅行者の安全確保

　　　 災害時に外国人旅行者が必要とする情報を提供できるよう、緊急時に役立つ情報を掲載しているポータルサイトを紹介する広報カードや、令和２年２月に運用を開始したウェブサイト・アプリ「Osaka Safe Travels」を周知するために作成した広報カードを観光案内所等で配布した。また、外国人旅行者の安全確保や帰国支援に必要な情報を掲載した「ガイドライン」や「リーフレット」を作成し、宿泊事業者等に配布した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ４，５４６千円 | ９１４千円 | ６，８２１千円 |
| 決　算　額 | ３，９５６千円 | ８５１千円 | ５，０９３千円 |

（６）多言語メニュー作成支援システム（TASTE OSAKA）の運用

府内飲食店における外国人旅行者の受入環境を整備するとともに、大阪府を訪れた外国人旅行者が安心、快適に飲食にかかる情報やサービスを入手できるよう、府内の飲食店が無料で利用できる多言語メニュー作成支援サイト及び外国人旅行者向けの店舗情報検索サイトを運用した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | ９，８９０千円 | １１，２００千円 | １９，４４４千円 |
| 決　算　額 | ９，８９０千円 | ９，９０５千円 | １９，２４０千円 |

（７）大阪駅・梅田駅周辺におけるサイン整備

多くの観光客が往来する大阪駅・梅田駅周辺エリアにおいて、来街者の利便性と回遊性を図るため、鉄道事業者や地下街事業者とともに案内サインの共通ルールを策定し、このルールに基づいて実施する案内サインの整備に対し、補助金を交付した。（実績 ５事業者）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | － | ２０，２８８千円 | ２３，０６８千円 |
| 決　算　額 | － | ７，５０３千円 | １５，９６８千円 |

（８）民泊対策の推進

旅行者の安全・安心の確保を図り、観光客のさらなる受入拡大をめざすため、保健所設置市が実施する適法民泊への誘導等、民泊対策の推進に係る取組みに対し、補助金を交付した。（実績：１市）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | － | ４０，９７９千円 | ５１，３２１千円 |
| 決　算　額 | － | ３１，８７３千円 | ４７，８２５千円 |

（９）【新規】来阪旅行者のニーズ把握のための調査研究

大阪が観光都市としてさらなる発展を図るため、今後の観光振興施策の企画立案に必要となるデータの収集を目的とした調査・研究を実施した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | － | － | ２５，７７７千円 |
| 決　算　額 | － | － | ２４，４４５千円 |

（10）【新規】ウェルカム大阪　外国人旅行者おもてなし事業

　　　　大阪全体における外国人旅行者に対するおもてなしの機運醸成を図るため、府民向けの「外国人旅行者おもてなし講座」の実施、「大阪府観光ボランティア」の公募・登録、派遣や市町村との連携を図るための研修等を行った。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | － | － | ３２，９５６千円 |
| 決　算　額 | － | － | ２０，９９７千円 |

（11）【新規】観光プロモーション動画の制作

　　　　より多くの観光客を大阪へ誘致するため、大阪独自の食文化、歴史・伝統行事、建造物、風景等、府内の魅力を国内外に広くプロモーションする動画を制作した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 負　担　金 | 平成２９年度 | 平成３０年度 | 令和元年度 |
| 予　算　額 | － | － | ５，５００千円 |
| 決　算　額 | － | － | ５，５００千円 |